
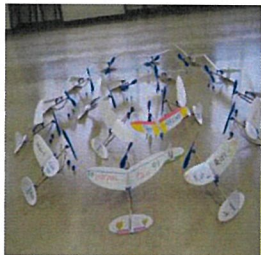




平成29年度大学コンソーシアムとちぎ 学生生活活動支援事業 報告書

機関名	佐野日本大学短期大学
団体等名	飛行機研究会
学生代表者氏名 (所属・学年)	小野 日花里 (総合キャリア教育学科・1年)
責任教職員氏名	亀田和則

1. 事業名	とばして あそぼう ゴム動力飛行機
2. 実施時期	2017年10月14日・15日
3. 実施場所	佐野日本大学短期大学 201教室
4. 事業の内容等	<p>毎年開催している「みかも祭」でゴム動力飛行機を飛ばすコーナー（無料）を出展した。本学スタッフは、ベトナム人留学生11人、日本人学生6名であった。今回の出展目的は、留学生と地域の人たちとの交流であり、日本人学生はそのサポートである。</p> <p>初・中級者向け飛行機と子供向け飛行機の2種類用意した。いずれも本学スタッフが作成した。本学スタッフは、今回初めてゴム動力飛行機を作成した。未経験者が中級者向け飛行機を作成するのは難しく、作成を断念することが数回あった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>初・中級者向け飛行機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子供向け飛行機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みかも祭準備の様子</p> </div> </div> <p>みかも祭当日、地域の親子が沢山参加した。子供だけでなく、大人も一緒にゴム動力飛行機に夢中になっていた。</p> <div style="text-align: center;">  <p>みかも祭の様子</p> </div>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>来客者がみんな笑顔になったので、留学生と地域の人たちとの交流という目的は達成できたと思う。</p> <p>先生が「夏の晴天のもと、屋外でゴム動力飛行機を飛ばすと、上昇気流にのり長時間飛行機が飛ぶ」と言っていた。今後の課題は、実施日を夏休み中にすることである。</p>

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。


2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書（添付書類を含む）はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生生活活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

平成29年度大学コンソーシアムとちぎ 学生生活支援事業 報告書

機関名	佐野日本大学短期大学
団体等名	飛行機研究会
学生代表者氏名 (所属・学年)	小野 日花里 (総合キャリア教育学科・1年)
責任教職員氏名	亀田和則

1. 事業名	とばして あそぼう ゴム動力飛行機
2. 実施時期	2017年10月17日
3. 実施場所	佐野市立佐野小学校 体育館
4. 事業の内容等	<p>子供たちに「ゴム動力飛行機の楽しさを伝える」「留学生と国際交流させる」という目的で、はじめて佐野市立佐野小学校の体育館で1年生(1・2時限目)と2年生(3・4時限目)対象にゴム動力飛行機教室を開催した。本学スタッフは、ベトナム人留学生11人、日本人学生6名であった。</p> <p>まず、引率教員を含む18名が校長先生に挨拶するために、校長室へ伺った。本学スタッフと子供たちが一緒にゴム動力飛行機を作るので、子供向け飛行機キットを約60個用意していただいた。</p> <p>以下、ゴム動力飛行機教室の写真である。本学スタッフと子供たちが真剣に活動していることがわかる。</p>  <p>ゴム動力飛行機教室が終わった後、本学スタッフは1・2年生と一緒に給食を頂いた。</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>小学生と本学スタッフみんなが笑顔になったので、「ゴム動力飛行機の楽しさを伝える」「留学生と国際交流させる」という目的できたと思う。</p> <p>今回、はじめての試みであった。今後の課題は、この試みを他の小学校でも実施することである。</p>

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生生活支援事業に役立てていきたいと思っております。